

目標達成計画

作成日：平成29年3月16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	介護計画作成において、職員個々の技術的格差が生じている。格差が広がらないように、指導体制を構築する必要がある。	介護計画作成技術の格差を縮める。	個々の職員の到達度を細分化してチェックする。介護計画作成到達度に応じた、個別指導を行う。カンファレンスを通して、他職員の介護計画から学びながらレベルアップを図る。	12ヶ月
2	4	地域において研修会や勉強会等を開催し、情報発信していく必要がある。	事業計画の中に、地域での研修会開催を位置付け、継続して行っていく体制を構築する。	運営推進会議の中で地域の要望を聞きながら、研修会の内容を検討し開催する。近隣自治会、学校等において、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の理解を図っていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。